

粟井地区村創りの会

能登香の里粟井村 第36回 田植え祭り

【六月 六日】



「コロナ禍により昨年同様、役員、農水部員のみでの開催となりました。しかし、春日神社・粟井宮司さんにより、滞りなく神事を終えることができました。今年も五穀豊穡が期待できます。皆さんも後しばらく、しっかりと新型コロナウイルス感染症の予防に気を付けてください。来年こそは、盛大に田植え祭りを行います。」



粟井地区社会福祉協議会

【五月二十八日】

「おたがいさまネットワーク事業」「見守り会議」

大字単位でテーブルを囲み、見守りが必要な世帯や、訪問員の選定を行う「見守り会議」、小房・梶原・小野・粟井中・鷺巣の四つのグループで行いました。民生委員を中心に訪問が必要な世帯の話だけでなく、普段の見守りにも役立つ情報共有を行いました。一年間で随分様子が変わる世帯が出てきます。年3回の「福祉会議」の場でも最新の情報交換が必要との意見も出てきました。粟井地区も隣近所での見守りがますます必要になってきました。

福祉会議



「福祉会議」とは、地区社協の構成員が中心となって、地区における困り事等の課題を見つけ、解決に向けた住民の助け合いによる取り組みを協議する会議です。今回は、美作市内の地区社協の活動事例が多く紹介されました。この地区でも地域住民の助け合い活動が盛んです。粟井地区でも年間3回の会議と独自のイベント等の取り組みを行っています。

社協作東地域ステーション

「高齢者の生活全般に関する相談、その他福祉全般に関する相談」を受け付けています。今年度から始まった取り組みです。このように周知していくかを協議しました。「粟井福祉ボランティアの会の困り事相談受付と合わせての利用を促進していきます。」

校舎運営委員会

【六月 六日】



自治振子ども教育部から依頼のあった校門付近の桜の整枝を行いました。大型車も枝に触れることなく通れだしました。料理研究グループの方が玄関に花を植えて下さっています。有難いことです。



粟井地区村創りの会

【五月二十五日】

農水部会

粟井地区村創りの会・農水部会が部員15名中10名の参加で開催されました。会議では令和三年度の事業計画について検討しました。

「粟井農地保全センター」の取り組みは、各区を中心に行う。人手が足りないときは他の区から応援に行く。

田植え祭り

六月六日に農水部員参加の下、神事を中心に開催する。

収穫祭

十一月十四日に野菜販売を中心に開催する。粟井地区の方には収穫祭を基準に栽培計画を立てていただき、多くの方に出品して頂く。

とんど祭り

令和四年一月十日に開催する。内容は状況に応じて検討する。

大豆の予約販売

正月もちの予約販売、受注加工、大豆の予約販売（もち大豆を増やす）、味噌、麹の販売等は、例年通り行う。

大豆の播種、畦畔の草刈りを行いました。

六月九日、小房の約40アールの圃場に「もち大豆」と「白大豆」を20アールずつ播種しました。

六月十三日は農水部員7名で、小雨の中、2時間畦畔の草刈りを行いました。



大豆の播種、畦畔の草刈りを行いました。



粟井地区社協に寄付を頂きました。

粟井中の安東寿夫様（亡和子）より、粟井地区社会福祉協議会に香典返しが多額の寄付を頂きました。

粟井中の安東康彦様より、粟井地区社会福祉協議会に多額の寄付を頂きました。

どちらも粟井地区の福祉事業に大切に活用させていただきます。ありがとうございます。

「編集後記」 コロナ禍が続く中、新しく選ばれた市議会議員による六月定例会議が行われています。落ち着いた雰囲気の中、しっかりと議論が行われているように思われます。見ていて一人ひとりの提案力が参考になります。しっかりと働いてほしいものです。粟井地区も他地区に負けてはおられません。山陽新聞六月十日の記事に美咲町の「小規模多機能自治」についての記事が掲載されていました。粟井地区も若い人の意見を取り入れ、再度村創りの取り組みを見直す時期だと感じました。